



US Topics

September 24, 2009

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

■ 目次

FASBが技術的修正等を加えた5つの会計基準アップデートを公表

その他のFASB関連記事

Practical Tip シリーズ: 生産量の削減により、間接費を棚卸資産として資産化するのではなく当期費用として計上することが要求される可能性があります

PwCがASBの品質管理基準案に関するコメントを公表

10月の予定

■ FASBが技術的修正等を加えた5つの会計基準アップデートを公表

今週、FASBは、FASB 会計基準成文化 (the Codification) に対する技術的修正を加えることと、EITF Issue に併せて行った SEC Observer のコメントの一部を盛り込むために5つの会計基準アップデート (ASU) を公表しました。なお、これらの ASU は現在の会計処理規定を何ら変更するものではありません。

- **ASU 2009-07「様々な項目の会計処理 - SEC規則のパラグラフに対する技術的修正」**—このASUには、外部から寄せられたコメントに基づくSEC規則を含む様々な項目に対する技術的修正が盛り込まれています。
<http://www.fasb.org/cs/BlobServer?blobcol=urldata&blobtable=MungoBlobs&blobkey=id&blobwhere=1175819576761&blobheader=application%2Fpdf>
- **ASU 2009-08「1株当たり利益—セクション260-10-S99の修正」**—このASUには、EITF Topic D-53「優先株の区分の一部に償還または転換請求が発生した期に関する1株当たり利益の算定」およびEITF Topic D-42「優先株の償還または転換請求に関する1株当たり利益算定の影響」に対する技術的修正が盛り込まれています。
<http://www.fasb.org/cs/BlobServer?blobcol=urldata&blobtable=MungoBlobs&blobkey=id&blobwhere=1175819608476&blobheader=application%2Fpdf>
- **ASU 2009-09「投資に関する会計—持分法、ジョイント・ベンチャー、非従業員への株式報酬の会計—セクション323-10-S99および505-50-S99の修正」**—このASUは、ASC 323-10-S99-4「持分法適用会社の従業員に付与される株式報酬に関する投資企業の会計処理」を修正するものです。当初ASC 323-10-S99-4は the Codification に誤って取り込まれていました。また、ASU 2009-09は、SEC Observerのコメントを the Codification に追加しています。
<http://www.fasb.org/cs/BlobServer?blobcol=urldata&blobtable=MungoBlobs&blobkey=id&blobwhere=1175819621429&blobheader=application%2Fpdf>
- **ASU 2009-10「金融サービス - ブローカー・ディーラー: 投資 - その他に関するサブピック940-325の修正」**—このASUは、EITF 02-3「売買目的で保有するデリバティブ契約、エネルギー取引およびリスク管理活動の会計をめぐる論点」のパラグラフ17におけるSEC Observer のコメントを the Codification に追加しています。
<http://www.fasb.org/cs/BlobServer?blobcol=urldata&blobtable=MungoBlobs&blobkey=id&blobwhere=1175819635962&blobheader=application%2Fpdf>
- **ASU 2009-11「採掘事業 - 石油およびガス」**—このASUには、EITF 90-22「ガス・バランシング・アグリーメント (Gas-Balancing Arrangements) の会計処理」に含まれるSEC Observerのコメントに対する技術的修正が盛

り込まれています。「企業はガスの収益の持分に係る不均衡(imbalance)を首尾一貫した方法で会計処理し、会計方法および重要な不均衡の金額と数量を開示しなければならない」とするSEC Observerの修正コメントが加えられました。

<http://www.fasb.org/cs/BlobServer?blobcol=urldata&blobtable=MungoBlobs&blobkey=id&blobwhere=1175819635982&blobheader=application%2Fpdf>

■ その他のFASB関連記事

会議の概要: FASBは9月23日に会議を開催し、(1) 財務諸表の表示、(2) 収益の認識、(3) EITFの合意事項および暫定的結論の承認、および(4) 金融商品の会計処理について議論しました。FASBの議論の概要については、以下のFASBウェブサイトをご覧ください。

http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FActionAlertPage&cid=1176156465296

次回の公開会議: FASBは9月30日水曜日に会議の開催を予定しています。保険契約に関する議論が予定されています。この会議に関する詳しい内容はFASBのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=Page&pagename=FASB%2FPage%2FSectionPage&cid=1218220079452>

プロジェクトの更新: FASBは株式の特徴を有する金融商品に関するプロジェクトの概要を更新しました。更新された概要は以下のFASBウェブサイトからご覧いただけます。

http://www.fasb.org/fi_with_characteristics_of_equity.shtml

■ Practical Tip シリーズ: 生産量の削減により、間接費を棚卸資産として資産化するのではなく当期費用として計上することが要求される可能性があります

財務報告の重要要素を十分に理解していただくためのPwCのシリーズ、「Practical Tip」の最新号では、PwCは生産量の低下が間接費の資産化に及ぼす影響に注目しています。経済の低迷により、生産量の削減を余儀なくされている企業もあるでしょう。生産量を異常に低下させる決定が行われた場合、固定製造間接費のうち余剰能力に係る部分は、棚卸資産に含めて資産化するのではなく費用として処理しなければなりません。

▼ CFOdirect Network のメンバーは、この概念を具体的に説明した事例を含む今号のPractical Tipの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jsp?ContentCode=AALN-7W4MXX&SecNavCode=MSRA-7T9J2V&ContentType=Content>

■ PwCがASBの品質管理基準案に関するコメントを公表

PwCは今週、AICPAの監査基準審議会(ASB)に対し、品質管理に関する以下の基準案についてコメントレターを提出しました。

- 品質管理基準「会計事務所の品質管理制度」(SQCS案)(同名のSQCS 7を置き換え)
- 監査基準「財務諸表監査に関する品質管理」(SAS案)(SAS 25「一般に公正妥当と認められる監査基準と品質管理基準の関係」を置き換え)

どちらの改訂基準案も、ASBの明瞭性を確保するための作成規約を適用し、国際監査・保証基準審議会（IAASB）の対応する基準とのコンバージェンスを一層強めるものです。

PwCは、両方の基準案に対し、国際基準では上場企業（発行体）にのみ適用されている業務品質管理レビューに関する特定の要件（例：独立性に関する考慮事項、議論を呼びそうな事項についてコンサルテーション、判断に関する文書化等）を盛り込むことを提言しています。また、PwCは、会計事務所がエンゲージメントの品質レビューの事務所の要件を満たすすべてのエンゲージメント（業務品質レビューの対象となる基準を満たす非発行体の監査を含む）に対してこれらの規定を適用することは、公益に資すると考えています。

▼ CFOdirect Networkのメンバーは、このPwCのコメントレターの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpif?ContentCode=EDYR-7W4JE5&SecNavCode=MSRA-74AMRC&ContentType=Content>

■ 10月の予定

- FASBは10月7日、14日、21日に会議および教育セッションを開催。
- 財務会計基準諮問評議会（FASAC）は10月5日～6日に会議を開催。
- FASBは10月26日～28日にIASBと共同会議を開催。
- FASBはAICPA非公開企業実務セクションの技術問題委員会と10月8日に連絡会議を開催。
- FASBは10月16日に公認証券アナリスト協会との連絡会議を開催。
- IASBは10月19日～23日に会議を開催。
- 国際財務報告基準に関する米国の今後を議題とするAICPA/IASB財団の主催によるコンファレンスが10月29日～30日に開催。
- ASBは10月12日～15日に会議を開催。
- 政府会計基準審議会（GASB）は10月6日～8日に会議を開催、10月27日に電話会議を開催。

▼ 上記の会議およびその他組織の行事の詳細については、以下のウェブサイトからCFOdirect Networkの行事カレンダーをご覧ください。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/cfobusiness/cfoevents/nextMonth.do?currentYear=2009¤tMonth=September>

お問い合わせ：あらた監査法人（ブランド&コミュニケーションズ）

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号
新丸の内ビルディング32階（〒100-6532）
電話：03-6858-0179（直通）
メールアドレス：aaratapr@jp.pwc.com

あらた監査法人は、世界153カ国に155,000人のスタッフを擁するプライスウォーターハウスクーパース（PwC）のメンバーファームです。PwCのメンバーファームとして、会計および監査においてPwCの手法に完全に準拠した国際的なベストプラクティスを採用し、PwCのグローバルネットワークで培われた経験、専門知識、リソースを最大限に活用し、日本において国内企業および国際企業に対して、国際水準の高品質な監査を提供していきます。

© 2009 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate and independent legal entity.